

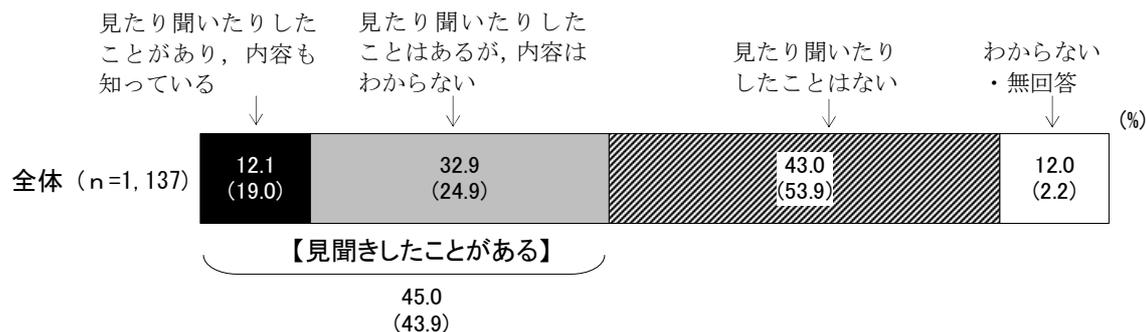
XI 「うまいもんどころ」の認知度

1. 「うまいもんどころ」の認知度

(1) 「うまいもんどころ」の認知度

—【見聞きしたことがある】が4割台半ば—

問25 あなたは、茨城県産農林水産物をPRするキャッチフレーズ「うまいもんどころ」(※)を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



※ キャッチフレーズ「うまいもんどころ」とは、「うまいものがあるところ」と水戸黄門の「紋所」をあわせたキャッチフレーズです。日本を代表する食の産地をアピールするとともに茨城らしさを表現しています。
また、「いばらき食と農のポータルサイト」(<http://ibaraki-shokusai.net/>)には、様々な情報が公開されています。

※()内の数値は、平成20年の調査結果

茨城県産農林水産物をPRするキャッチフレーズ「うまいもんどころ」を、「見たり聞いたりしたことがあり、内容も知っている」(12.1%)と「見たり聞いたりしたことはあるが、内容はわからない」(32.9%)を合わせた【見聞きしたことがある】(45.0%)が4割台半ばとなっている。一方、「見たり聞いたりしたことはない」(43.0%)が4割台半ばとなっている。

前回調査と比べると、「見たり聞いたりしたことはない」が約11ポイント減少している。

—【見聞きしたことがある】は県央で6割台半ば—

地域別でみると、【見聞きしたことがある】は、県央（63.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。

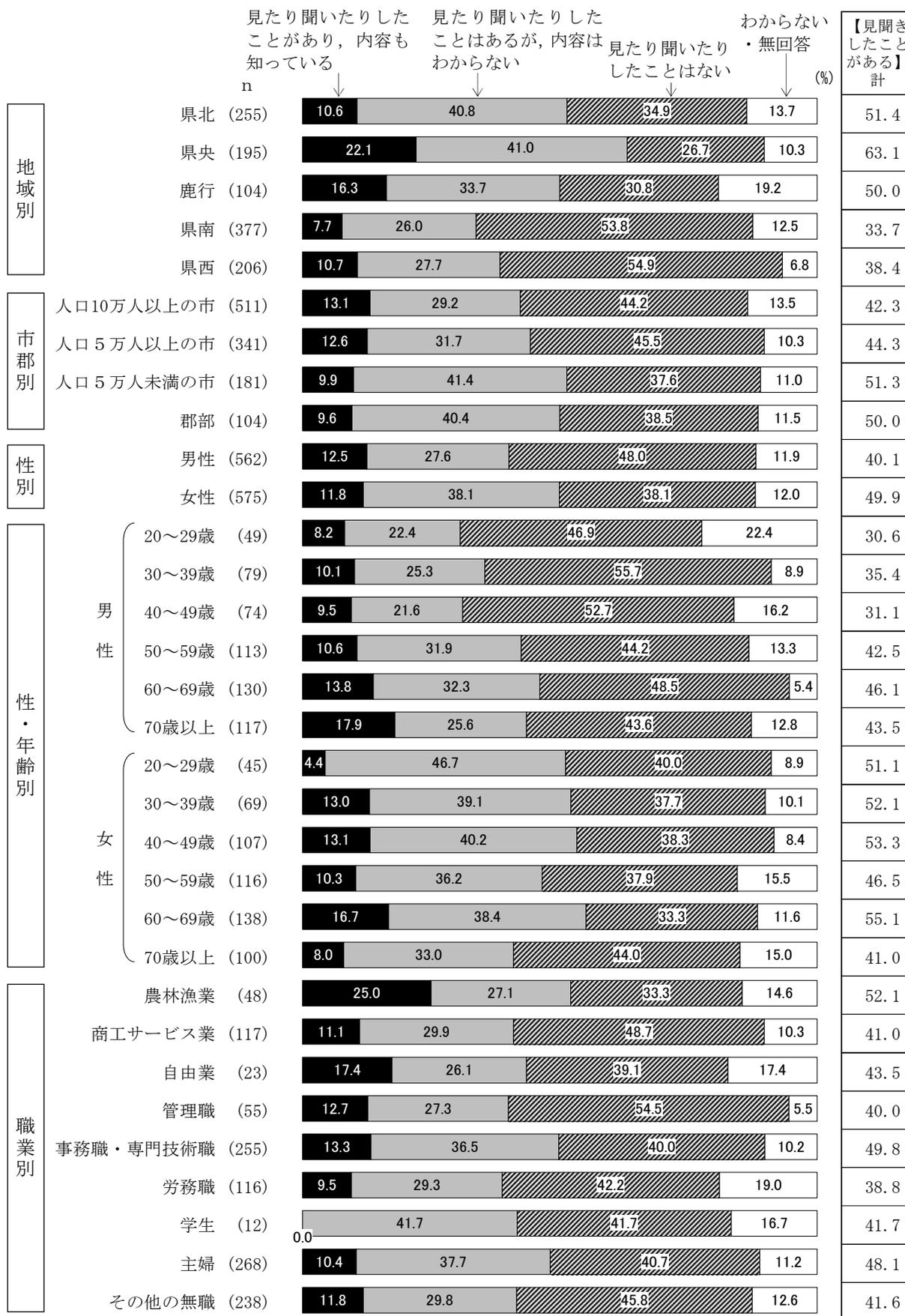
市郡別でみると、【見聞きしたことがある】は、人口5万人未満の市（51.3%）と郡部（50.0%）で5割台と高くなっている。

性別でみると、【見聞きしたことがある】は、女性（49.9%）が男性（40.1%）よりも約10ポイント高くなっている。一方、「見たり聞いたりしたことはない」は、男性（48.0%）が女性（38.1%）よりも約10ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【見聞きしたことがある】は、女性の20代（51.1%）、30代（52.1%）、40代（53.3%）、60代（55.1%）で5割台と高くなっている。

職業別でみると、【見聞きしたことがある】は、農林漁業（52.1%）で5割を超えて最も高く、事務職・専門技術職（49.8%）と主婦（48.1%）で約5割となっている。

図XI 25-1 「うまいもどころ」の認知度（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



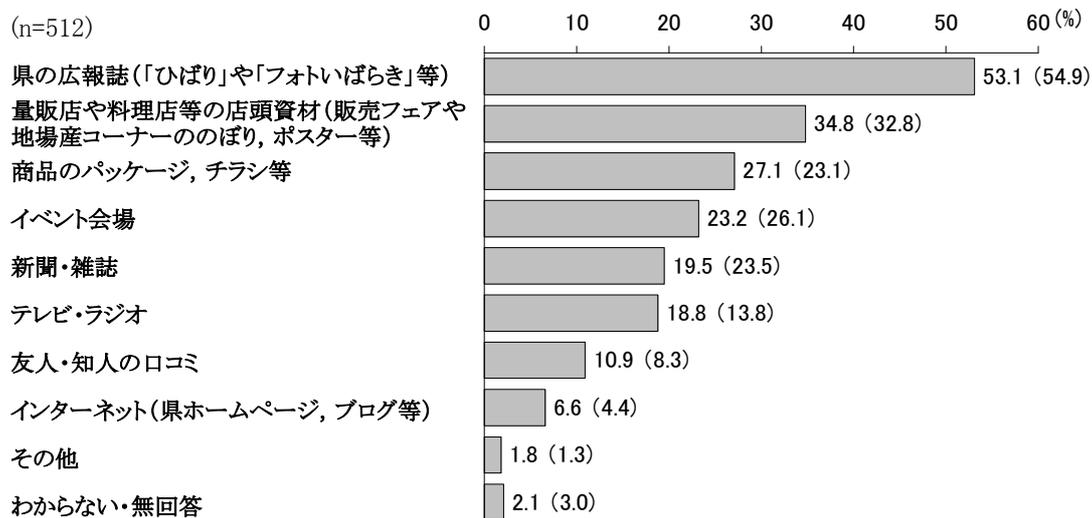
(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(2) 「うまいもんどころ」の認知経路

—「県の広報誌(「ひばり」や「フォトいばらき」等)」が5割台半ば—

(問25で、「1. 見たり聞いたりしたことがある、内容も知っている」か「2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容はわからない」と回答した方のみ)

問25-1 あなたは、キャッチフレーズ「うまいもんどころ」を、どこで見たり聞いたりしましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成20年の調査結果

※「量販店や料理店等の店頭資材(販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター等)」は、平成20年は「量販店等の店頭資材(販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター)」、「イベント会場」は、平成20年は「県民まつりなど、イベント会場」、「インターネット(県ホームページ、ブログ等)」は、平成20年は「インターネット(県ホームページなど)」、「商品のパッケージ、チラシ等」は、平成20年は「商品についているパッケージ」、「友人・知人の口コミ」は、平成20年は「友人・知人からの口コミ」

「うまいもんどころ」を【見聞きしたことがある】と回答した方に、どこで見たり聞いたりしたか聞いたところ、「県の広報誌(「ひばり」や「フォトいばらき」等)」(53.1%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで「量販店や料理店等の店頭資材(販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター等)」(34.8%)が3割台半ば、「商品のパッケージ、チラシ等」(27.1%)、「イベント会場」(23.2%)が2割台で続いている。

前回調査と比べると、「テレビ・ラジオ」が5ポイント、「商品のパッケージ、チラシ等」が4ポイント、「友人・知人の口コミ」が約3ポイント増加している。一方、「新聞・雑誌」が4ポイント、「イベント会場」が約3ポイント減少している。

—「県の広報誌（「ひばり」や「フォトいばらき」等）」は女性の50代で約7割—

地域別でみると、「県の広報誌（「ひばり」や「フォトいばらき」等）」は、県南（59.1%）で約6割と最も高く、鹿行（40.4%）以外のすべての地域で5割台となっている。「量販店や料理店等の店頭資材（販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター等）」は、県北（38.2%）と県央（39.8%）で約4割と高くなっている。また、「商品のパッケージ、チラシ等」は、県央（36.6%）で3割台半ばと最も高くなっている。

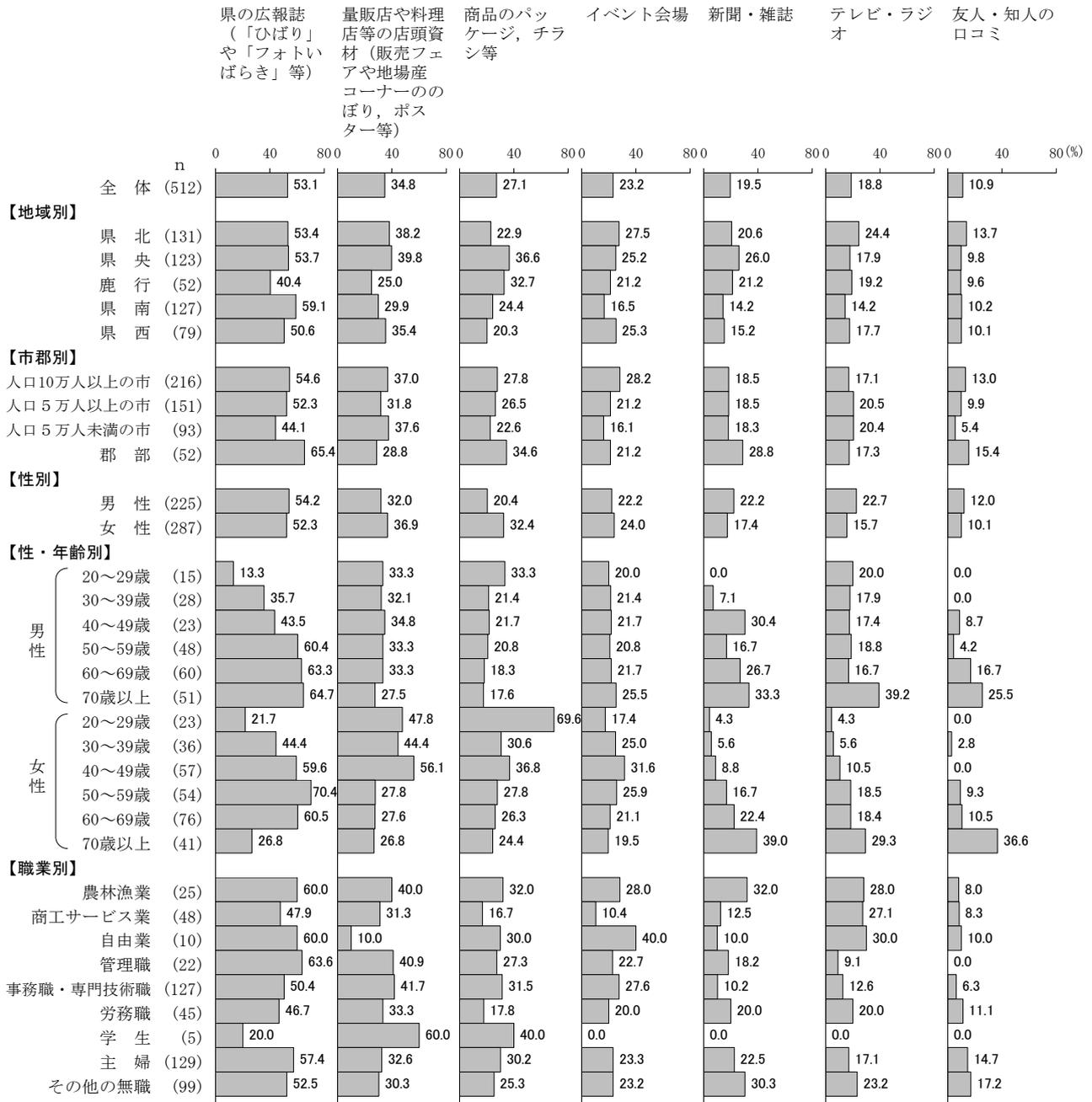
市郡別でみると、「県の広報誌（「ひばり」や「フォトいばらき」等）」は、郡部（65.4%）で6割台半ばと最も高くなっている。「量販店や料理店等の店頭資材（販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター等）」は人口10万人以上の市（37.0%）と人口5万人未満の市（37.6%）で約4割と高く、「商品のパッケージ、チラシ等」は郡部（34.6%）で3割台半ばと最も高くなっている。

性別でみると、「商品のパッケージ、チラシ等」は、女性（32.4%）が男性（20.4%）よりも12ポイント高く、「量販店や料理店等の店頭資材（販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター等）」は、女性（36.9%）が男性（32.0%）よりも約5ポイント高くなっている。一方、「テレビ・ラジオ」は男性（22.7%）が女性（15.7%）よりも7ポイント高く、「新聞・雑誌」は男性（22.2%）が女性（17.4%）よりも約5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「県の広報誌（「ひばり」や「フォトいばらき」等）」は、男性では50代（60.4%）、60代（63.3%）、70歳以上（64.7%）で6割台となっている。女性では50代（70.4%）で約7割と最も高く、40代（59.6%）と60代（60.5%）で約6割となっている。「量販店や料理店等の店頭資材（販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター等）」は女性の40代（56.1%）で5割台半ばと最も高く、「商品のパッケージ、チラシ等」でも女性の40代（36.8%）は3割台半ばと最も高くなっている。また、「新聞・雑誌」は、女性で年齢が上がるほど高くなり、70歳以上（39.0%）で約4割となっている。

職業別でみると、「県の広報誌（「ひばり」や「フォトいばらき」等）」は、主婦（57.4%）で約6割と最も高くなっている。「量販店や料理店等の店頭資材（販売フェアや地場産コーナーののぼり、ポスター等）」は、事務職・専門技術職（41.7%）で4割を超えている。

図XI 25-1-1 「うまいもんどころ」の認知経路
 (地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)



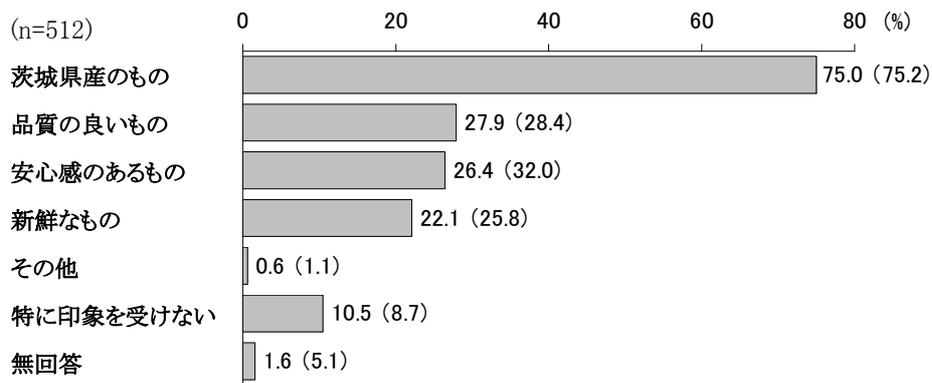
(注) 男性及び女性の20～29歳, 男性の30～39歳, 40～49歳, 農林漁業, 自由業, 管理職, 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(3) 「うまいもんどころ茨城」の印象

—「茨城県産のもの」が7割台半ば—

(問25で、「1. 見たり聞いたりしたことがあり、内容も知っている」か「2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容はわからない」と回答した方のみ)

問25-2 あなたは、商品につけられる「うまいもんどころ茨城」のロゴマークから、どのような印象を受けますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成20年の調査結果

「うまいもんどころ」を【見聞きしたことがある】と回答した方に、商品につけられる「うまいもんどころ茨城」というロゴマークの印象を聞いたところ、「茨城県産のもの」(75.0%)が7割台半ばと最も高くなっている。次いで「品質の良いもの」(27.9%)、「安心感のあるもの」(26.4%)、「新鮮なもの」(22.1%)が2割台で続いている。

前回調査と比べると、「安心感のあるもの」が約6ポイント、「新鮮なもの」が約4ポイント減少している。

—「茨城県産のもの」は女性の50代で8割台半ば—

地域別でみると、「茨城県産のもの」は、県央（82.9%）で8割を超えて最も高く、県西（78.5%）で約8割となっている。「品質の良いもの」は県西（41.8%）で4割を超え、「安心感のあるもの」は鹿行（44.2%）で4割台半ばと、それぞれ最も高くなっている。

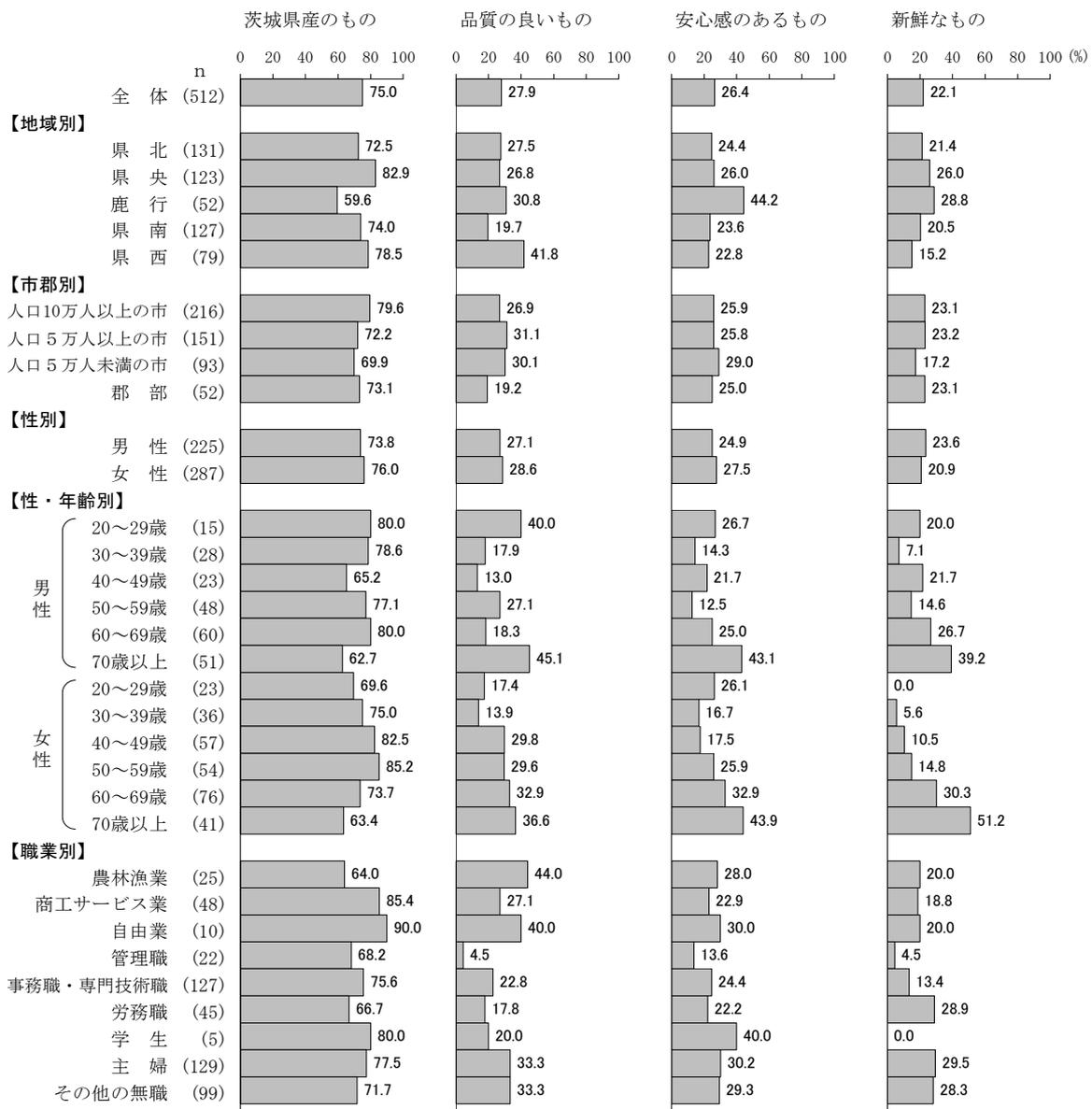
市郡別でみると、「茨城県産のもの」は、人口10万人以上の市（79.6%）で約8割と最も高くなっている。

性別でみると、「新鮮なもの」は、男性（23.6%）が女性（20.9%）よりも約3ポイント高くなっている。一方、「安心感のあるもの」は、女性（27.5%）が男性（24.9%）よりも約3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「茨城県産のもの」は、女性の50代（85.2%）で8割台半ばと最も高く、男性の60代（80.0%）、女性の40代（82.5%）で8割台となっている。「品質の良いもの」は男性の70歳以上（45.1%）で4割台半ばと最も高くなっている。「安心感のあるもの」と「新鮮なもの」は、男女ともに年齢が上がるほど高く、特に、「新鮮なもの」は女性の70歳以上（51.2%）で5割を超えている。

職業別でみると、「茨城県産のもの」は、商工サービス業（85.4%）で8割台半ばと最も高くなっている。

図XI 25-2-1 「うまいもどころ茨城」の印象（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



(注) 男性及び女性の20～29歳，男性の30～39歳，40～49歳，農林漁業，自由業，管理職，学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。